



たけだ正光県議会リポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

24年春から運用開始へ

12月県議会で一般質問のため登壇した武田正光県議



小児救命集中治療ネットワーク

12月県議会一般質問 流山市特集

明るく活力のある千葉県と流山市をつくること、政治活動に全力投球している武田正光県議(流山市、2期)は12月県議会で一般質問に立ち、知事ら県執行部に県の施策を質しました。明日の日本を担う子どもへの健全な成長を願っている武田議員ですが、一般質問では小児医療の充実、放射能対策、つくばエクスプレス沿線土地区画整理事業の進捗、花粉症対策などについて尋ねました。質疑の模様を特集します。

武田議員 現在、構築中の小児救命集中治療ネットワークについて、具体的な内容や進捗状況はどうなっているか。

保健医療担当部長 重篤 小児救命患者に適切な医療を速やかに提供するためには、どの病院でどのような患者を受け入れることができるかについて、医療機関や消防機関(救急車)がお互いに情報共有を図ることが大切です。

害、重症外傷、重症熱傷などの疾患や症状に応じて、どのような患者を受け入れ可能であるかという情報を小児病棟がある病院や消防機関(救急車)と共有できるネットワークを構築することとしております。

このネットワークでは、小児重症患者の発生や治療に関する詳細な医療情報を、小児病棟を有する病院の間で共有する機能も併せて整備するということとしております。

平成24年3月からの運用開始に向けて準備を進めており、今後とも、小児救急医療の強化に努めてまいります。

武田議員 千葉県独自の素晴らしい施策であるが、重要なのはその運用。医療機関による情報更新が前提になる。小児患者の1分1秒でも早い受診実現のため、確実な実行を強く望む。

小児救急電話相談 1日平均59件受け付け
武田議員 小児救急電話

相談について体制を強化した後の相談状況はどうか。また、相談に対し十分な対応がなされているのか。

保健医療担当部長 本年4月からは、特に相談件数の多い土・日・祝日の体制を強化するため、看護師の相談員を3名から4名に増員したところです。

この結果、4月から10月までの土・日・祝日の相談件数は、1日平均59件と、前年同期に比べ18%増加しています。相談員1人当たりの相談件数は前年の1日平均約17件から15件となり、一つひとつの相談に、より丁寧に対応できるようになっております。

放射能の健康影響 県は積極的施策を

武田議員 放射能の健康への影響について、県として積極的に施策を推進するべきと思うがどうか。

保健医療担当部長 低線量の放射線を長期に受けた場合の健康への影響については、高度な専門性が必要であるところから、国による方針の提示及び支援が不可欠であると考え、健康への影響の調査方法の早急な検討・公表等を要望しているところです。

福島県においては現在、「県民健康管理調査」を実施中です。千葉県としても、これらの調査の実施状況や国・専門機関における検討状況に関する情報を収集し、研究してまいります。

武田議員 特に子どもへの影響に関する不安が大きい。国は福島県で手一杯に見える。6月議会の一般質問においても私は要望したが、線量の高い地域に住む子どもへの健康診断・調査など、安心確保のための施策を、千葉県独自で行ってほしい。

流山木地区土地区画整理 事業期間延伸検討へ

武田議員 流山木地区土地区画整理事業において、事業を取り巻く状況の変化を踏まえ、施行期間や資金計画など、事業計画の見直しについて、どのように考えているのか。

都市整備局長 木地区においては、平成23年度末で約65%の事業進捗が見込まれております。

しかしながら、施行期間が残り3年余りとなっていることや、事業の進捗状況などを考慮すると、期間の延伸を検討する必要があるものと考えております。また、地価の下落など、近年の社会経済情勢の変化を考慮すると、保留地処分単価の見直しや国庫補助金の拡充など、資金計画の見直しが必要と認識しているところであります。

武田正光県議 Profile

略歴	
昭和44年8月9日	生まれ
昭和57年	流山市立八木南小学校卒
昭和60年	流山市立八木中学校卒
昭和63年	専修大学松戸高等学校卒
平成4年	中央大学商学部卒
	公認会計士
平成19年	県議会議員初当選
平成23年	県議会議員再選
現職	
県議会	県土整備常任委員会委員長
自民党県連	副幹事長 政務調査会審議委員 青年局常任幹事

●流山市や県政のご相談、ご要望をお聞かせください

たけだ 正光 県議事務所
 〒270-0163 流山市南流山1-1-2-701
 TEL.04-7159-0518

ホームページ <http://www.takeda-hashiru.com>
 たけだ正光 検索 <http://www.takeda-hashiru.com>
 ●たけだ正光ブログもご覧下さい。 毎日更新中!! ブログ <http://takedama.exblog.jp/>

たけだ正光県議会レポート

フォト特集

たけだ正光県議 2011年の活動を振り返って



2月 県議会一般質問



5月 県内被災地視察



6月 県土整備常任委員長就任



6月 県議会一般質問



11月 橋梁建設現場視察



12月 県議会一般質問

花粉少ないスギ苗木

近隣都県に幹旋植栽

武田議員 来年のスギ花粉の飛散はどのように予測しているか。

農林水産部長 花粉症が大きな社会問題となってきたことから、県では平成6年から毎年、スギ花粉のものと異なるスギ雄花の着き具合を調査し、スギ花粉の飛散の程度を予測しています。スギ雄花の着き具合は、夏の天候に左右されている

武田議員 雄花が成熟した11月から12月にかけて、県内のスギ林の分布をもとにした45箇所の定点調査地で、県の農林総合研究センター森林研究所が調査を行っています。

武田議員 スギ花粉の飛散による花粉症が社会問題化している現在、県としてどのような花粉対策に取り組んでいるか。

農林水産部長 花粉対策として、スギ林の花粉発生を抑制することが有効と考えられることから、県では、全国に先駆けて、平成7年度に、花粉の少ないスギを



県会議場の自席で県執行部に再質問をする武田正光県議

選抜、実用化し、苗木の生産に着手しました。平成11年から県内で植栽するスギは、すべてこの花粉の少ないスギとなっており、平成2年までの間に520万本を植栽しています。また、スギ花粉の飛散は県を超えて広範囲となることから、関東の都県や苗木生産組合、森林組合が連携して、花粉の少ないスギ苗木を近隣都県に幹旋し、植栽を進めることにより、広

域的な花粉発生の抑制対策に取り組んでいるところであります。武田議員 花粉症は国民にとっては深刻な問題であり、観光業、外食産業などへの経済的損失は莫大であるとともに、健康保険財政を圧迫している。しっかりとその対策に取り組んでほしい。また、花粉は県外からも飛んでくるので広域的連携にもしっかりと取り組んでほしい。

先進的取組みの東葛地域

新産業創出へ支援を

武田議員 先進的な取り組みを実施している東葛地域において、電気自動車産業をはじめとして新たな産業の創出やベンチャー企業の支援を進めるべきと思うかどうか。

農工労働部長 東葛テクノプラザでは、新たな産業の創出に向け、ベンチャー企業の育成・支援を総合的に行っており、研究開発室を廉価で貸貸するほか、イン

キュベーション・マネージャーを配置し、企業の経営相談、大学や企業などとの連携促進等、幅広い支援を行っています。さらにつくばエクスプレス沿線では民間主導で設立されたベンチャー支援組織「T-Xアントレプレナーパートナーズ」が資金提供や経営アドバイスなどを行っており、県もその活動を支援しています。県としても、新

たな産業の創出やベンチャー企業の育成・支援に取り組んでいきます。

県総合計画政策評価

施策の8割「進展」 または「概ね進展」

武田議員 総合計画「輝け！ちば元気プラン」の実施状況はどうか。

知事 県では中長期的な視点に立って、少子高齢化の進展、経済・社会のグローバル化、安全・安心の確保などの諸課題に適切に対応していくため、県議会の議決をいただき、平成22年3月に、総合計画「輝け！ちば元気プラン」を策定し、施策などを推進しているところでございます。総合計画に掲げた施策などについては、政策評価制度による進捗管理を行っているところでございますが、本年9月にとりまとめた平成22年度の政策評価では、全体の8割の施策で「進展」又は「概ね進展」となるなど良好な結果が出ており、順調に推移しているものと考えております。

(仮称)新流山橋(江戸川新橋)の現在の取組状況と今後の見通しについて

流山市三輪野山から江戸川を渡り、埼玉三郷市を結ぶ計画の「新流山橋」は、TX沿線三郷(埼玉、千葉、茨城)を結ぶ都市軌道路の一部として機能すると共に現在の流山橋(流山八丁目)付近の交通渋滞緩和をもたらします。その整備については、千葉県と流山市との連携・協力のもと、地元住民の皆様との対話を続けながら、一歩一歩進められております。

平成21年度には将来交通量推計が1日あたり33800台であることが調査報告され、平成22年度には接続する市道の設計や環境調査、境界確認測量が実施されました。平成23年5月には、環境調査と住環境への影響と対策について、また、11月には景観に配慮した高架構造設計について説明がなされました。

これから県道松戸野田線との「平面交差構造計画」から、「高架構造計画」への都市計画変更手続きを進めていく予定です(平成23年内)。その後、早期事業着手を目指して、共同事業者となる埼玉県との協議に入ります。「新流山橋」建設については、私も平成19年の初当選時から現在まで計6回にわたって県議会での一般質問として取り上げ、訴えてまいりました。引き続き、市政との連携をはかり、地元住民の皆様のご意見を伺いながら、強い意思をもって取り組んでまいります。